

3 訪問先の関係書類

資料 1

要 望 書

令和元年 8 月

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

要 望 書

京都府北部に位置する京丹後市は、世界認定の山陰海岸ジオパークに代表される豊かな自然やその景観、四季折々の山海の幸とともに悠久の歴史に育まれた優れた文化を有し、これらの地域資源の連携・活用を図りながら新しい価値観を創造し、地域の再生を目指して懸命な努力を続けています。

特に道路ネットワークの構築は、あらゆる産業の振興や救急医療など市民生活に直結し、本市が将来にわたって発展していくうえで最も重要な課題であります。

しかし、山陰近畿自動車道は、日本海沿岸国土軸を形成する重要な道路でありながら、日本海側唯一の高速道路の空白地帯になっており、全線事業化の目途さえ立っていない状況です。

また、近年発生している地震災害や豪雨災害においては、道路ネットワークの確立と防災力強化の必要性が再認識されており、危機管理・防災体制の強化の上でも都市部と連結する広域幹線道路網の整備が重要不可欠です。

つきましては、次の要望を実現していただくようお願い申し上げます。

- 1 大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。
- 2 大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。
- 3 兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に向けた本調査を実施されたい。

令和元年8月2日

近畿地方整備局

局長 井上智夫様

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会長 金田琮仁

京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟

会 長 金 田 琮 仁

副会長 谷 津 伸 幸

副会長 松 本 経 一

幹 事 櫻 井 祐 策

幹 事 中 野 勝 友

幹 事 行 待 実

幹 事 吉 岡 豊 和

池 田 恵 一

谷 口 雅 昭

中 野 正 五

浜 岡 大二郎

東 田 真 希

平 井 邦 生

藤 田 太

松 本 聖 司

水 野 孝 典

由 利 敏 雄

和 田 正 幸

京丹後市山陰近畿自動車等建設促進議員連盟 要望活動

1 目的

- ① 山陰近畿自動車道の早期全線事業化に向けて、近畿地方整備局並びに京都府に対して要望活動を行う。
- ② 緊急輸送道路に指定されている国道、府道の整備事業について、事業主体である京都府並びにその財政支援を行っている防衛省に対して感謝を述べ、更なる事業推進を要望する。

2 要望日時

令和元年8月2日(金) 10時30分～15時15分

3 要望先

- 近畿中部防衛局 島 眞哉局長
- 近畿地方整備局 植田雅俊道路部長
- 京都府建設交通部 富山英範部長

4 タイムスケジュール

7:00 峰山庁舎集合・出発
10:15 大阪合同庁舎第2号館 到着
10:30～11:00 近畿中部防衛局 要望活動
(移動)
11:20 大阪合同庁舎第1号館 到着
11:30～12:00 近畿地方整備局 要望活動
(移動)
12:40～13:30 昼食(吹田サービスエリア)
14:50 京都府庁到着
15:00～15:15 京都府建設交通部 要望活動
(移動)
18:00 峰山庁舎帰着

山陰近畿自動車道建設促進議員連盟 要望活動

【R01/08/02 (金) 10:30~11:00】 場所：近畿中部防衛局

◆防衛省 近畿中部防衛局長 ^{しま} ^{しんや} 島 真哉 氏



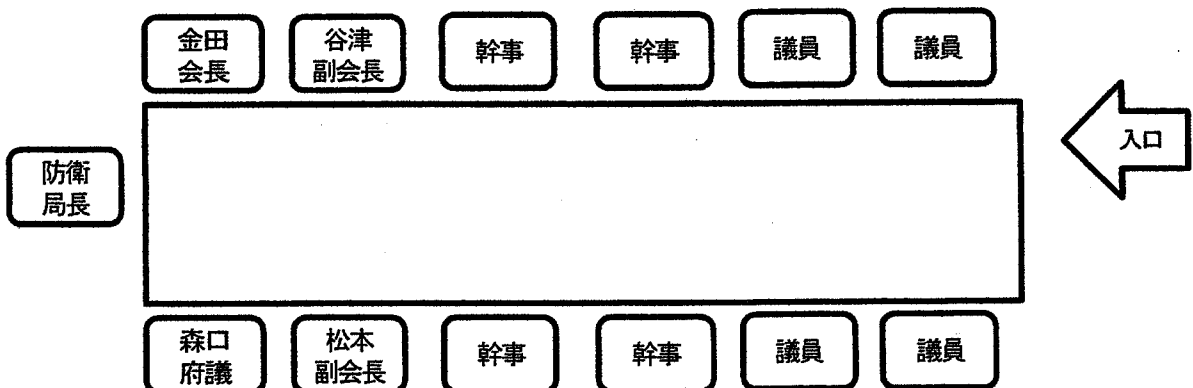
経歴

- 2015年10月防衛省地方協力局補償課長
- 2016年7月防衛省地方協力局地方調整課長
- 2017年8月防衛省九州防衛局次長
- 2018年8月防衛省近畿中部防衛局長

【入室後の流れ】

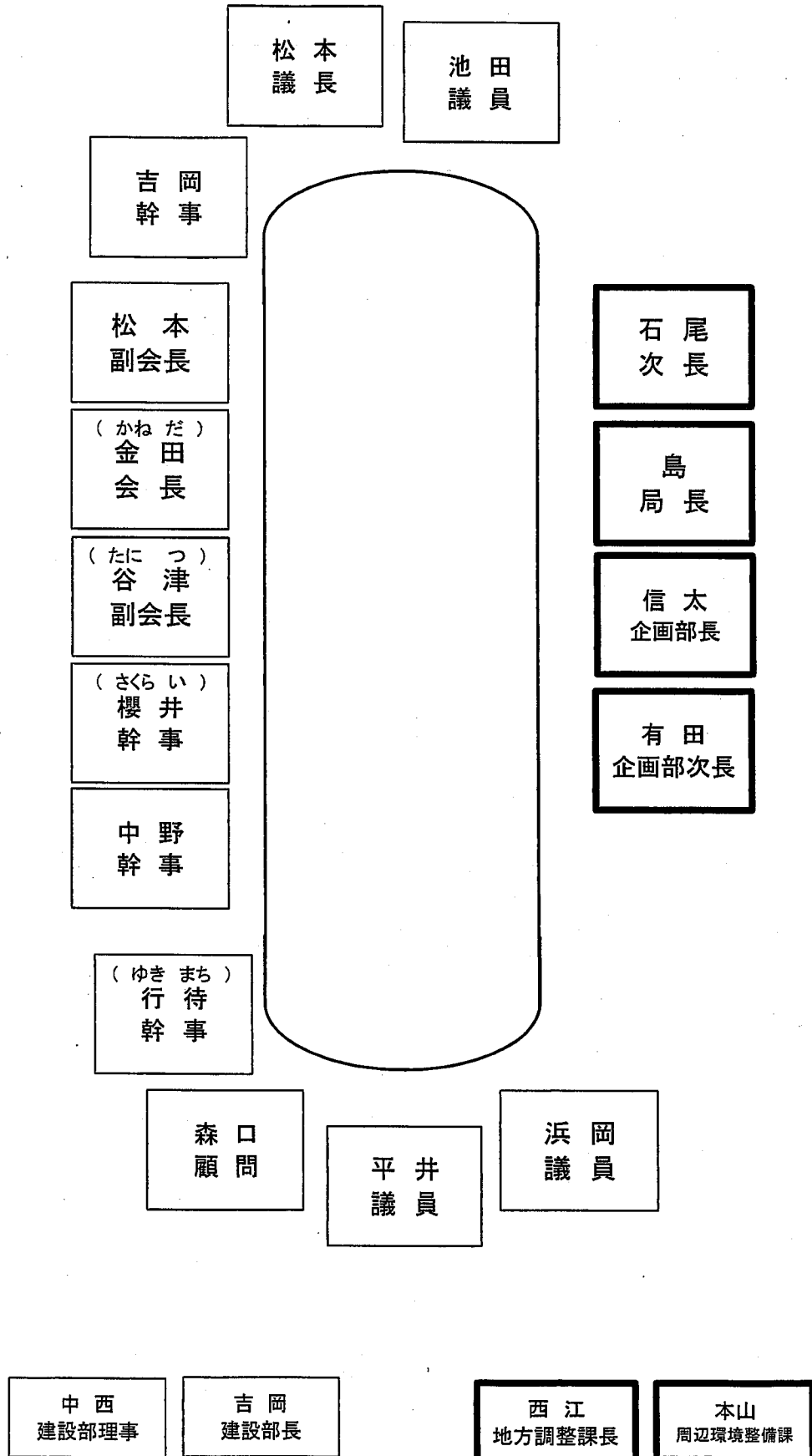
- ① 名刺交換（入室後、直ちに順次名刺交換）
（着席）
- ② 金田会長から挨拶
- ③ 金田会長から議連の紹介・事業に対するお礼
- ④ 防衛局長からコメント
- ⑤ 参加議員からの発言（時間を見て適宜）
- ⑥ 森口府議会議員（顧問）から挨拶
- ⑦ 全員で写真撮影

【配席（想定）】



京丹後市山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟来局時の配席図

- ・ 日時： 8月2日(金) 1030~1100
- ・ 場所： 局長室



【 入口 】

民安関連道路事業

- ⑩ 主要地方道 浜丹後線（上野平バイパス） (京丹後市丹後町久備～平)
- ⑪ 主要地方道 浜丹後線（宮バイパス） (京丹後市丹後町宮)
- ⑫ 主要地方道 網野岩滝線（外村バイパス） (京丹後市弥栄町外村) <新規>
- ⑬ 一般府道 間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区） (京丹後市丹後町三宅～弥栄町国久)

主要地方道浜丹後線等は、国道178号等と併せて丹後半島を周遊する道路を形成し、地域の生活を支える重要な路線ですが、一部区間で幅員が狭く、急カーブが連続するなど、安全な通行に支障をきたしているため、バイパスの整備により、通行の安全確保と地域振興の促進を図ります。

令和元年度は、用地補償、道路築造、橋梁下部工等を実施します。

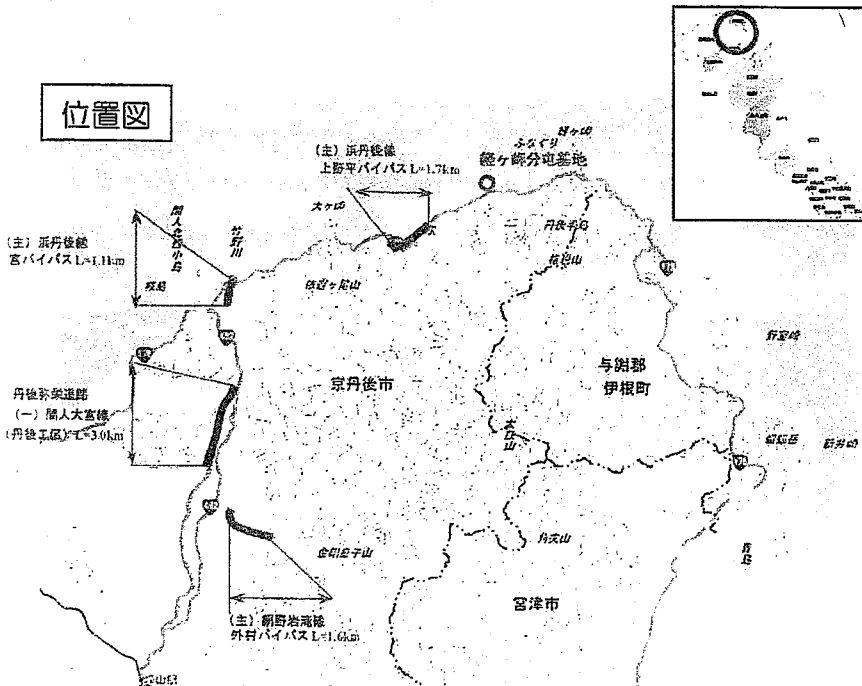
◎事業概要

箇所名	全体計画	H30までの実績	R元計画
(主) 浜丹後線 (上野平バイパス)	事業期間：H26～ 延長・幅員：1.7km 6.0(10.0)m 総事業費：1,900百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 事業費：739百万円	事業概要：測量設計 用地補償 橋梁下部 道路築造 事業費：295百万円
(主) 浜丹後線 (宮バイパス)	事業期間：H27～ 延長・幅員：1.1km 6.0(7.5)m 総事業費：500百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 事業費：347百万円	事業概要：道路築造 事業費：53百万円
(主) 網野岩滝線 (外村バイパス)	事業期間：R元～ 延長・幅員：1.6km 6.0(10.0)m 総事業費：2,000百万円	/	事業概要：測量設計 事業費：24百万円
(一) 間人大宮線 (丹後弥栄道路丹後工区)	事業期間：H26～ 延長・幅員：3.0km 6.5(10.5)m 総事業費：1,800百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 橋梁下部 事業費：891百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 橋梁上部 事業費：379百万円

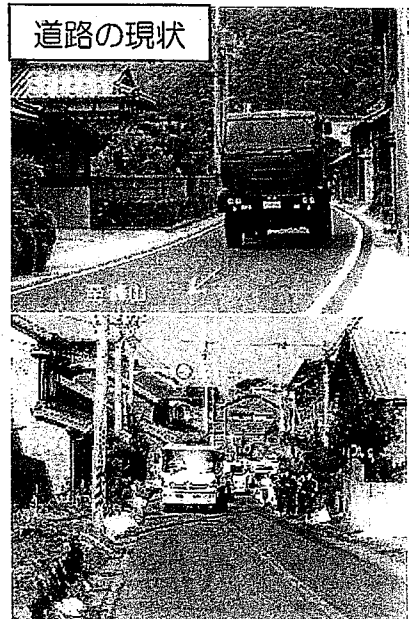
◎事業効果

- 急カーブ・急勾配が連続する交通ネック箇所を解消し、円滑な通行を確保します。
- 通過交通をバイパス道路に誘導し、現道部における歩行者の安全性向上を図ります。
- 丹後半島を一周する道路の整備により、観光振興を支援します。

位置図



道路の現状



山陰近畿自動車道建設促進議員連盟 要望活動

【R01/08/02 (金) 11:30~12:00】 場所：近畿地方整備局

◆国土交通省 近畿地方整備局 道路部長 ^{うえだ まさとし} 植田 雅俊 氏



昭和 年 月 日生 高知県出身
92年 大阪大学大学院修了
平成4年 建設省入省

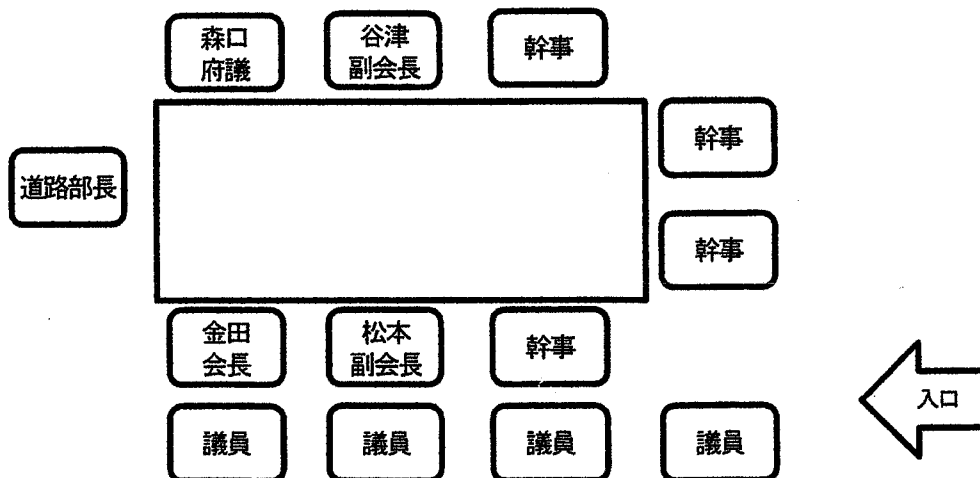
2016年4月国土交通省都市局都市政策課都市環境政策室長
2017年7月国土交通省中国地方整備局広島国道事務所長
2019年7月国土交通省近畿地方整備局道路部長

※福知山河川国道事務所 矢野所長同席

【入室後の流れ】

- ① 名刺交換（入室後、直ちに順次名刺交換）
- ② 金田会長から挨拶・要望書の手交（全員で写真撮影）
（着席）
- ③ 金田会長から大宮峰山道路に対するお礼・要望事項の説明
- ④ 金田会長から京丹後市及び議連の紹介
- ⑤ 道路部長からコメント
- ⑥ 参加議員からの発言（時間を見て適宜）
- ⑦ 森口府議会議員（顧問）から挨拶

【配席（想定）】



山陰近畿自動車道建設促進議員連盟 要望活動

【R01/08/02 (金) 15:00~15:15】 場所：京都府庁2号館

◆京都府 建設交通部建設交通部長 ^{とみやま ひでのり} 富山 英範 氏



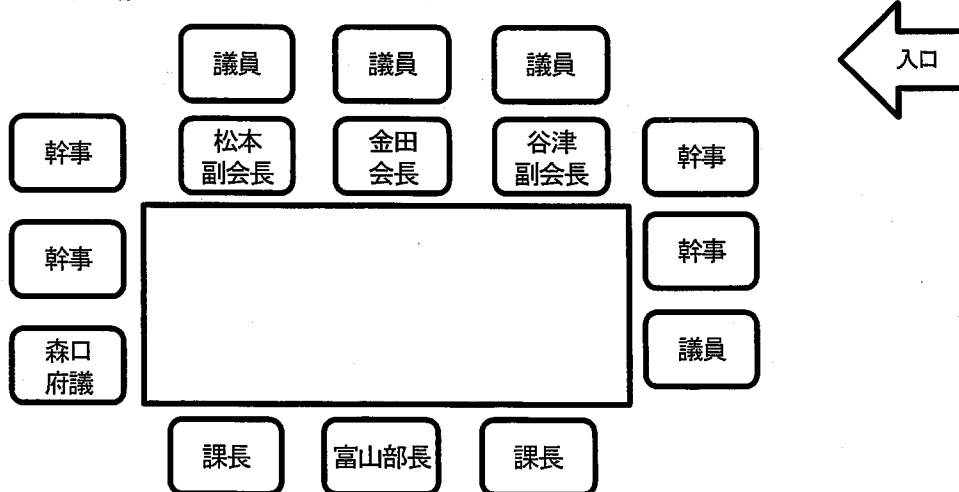
昭和44年富山県生まれ
北海道大学工学部土木工学科卒業
平成4年4月 建設省入省

2011年9月 九州地方整備局福岡国道事務所長
2013年●月 道路局企画課国際室企画専門官
0000年●月 大臣官房技術調査課建設技術調整官
2016年4月 北陸地方整備局金沢河川国道事務所長
2018年4月 京都府建設交通部技監
2018年5月 京都府建設交通部技監兼交通基盤推進監
2019年4月 京都府建設交通部長

【入室後の流れ】

- ① 名刺交換 (入室後、直ちに順次名刺交換)
- ② 森口府議会議員 (顧問) から挨拶
- ③ 金田会長から要望書の手交 (全員で写真撮影)
(着席)
- ④ 金田会長から山陰近畿自動車道・国府道事業に対するお礼・要望事項の説明
- ⑤ 道路部長からコメント
- ⑤ 副会長 (2名) からの発言
- ⑥ 森口府議会議員 (顧問) から挨拶

【配席 (想定)】



京丹後市山陰近畿自動車道建設促進議員連盟会員名簿

平成30年6月26日～

会 長	金田 琮仁	峰山町
副会長	松本 経一	大宮町
副会長	谷津 伸幸	網野町
幹 事	行待 実	弥栄町
幹 事	吉岡 豊和	弥栄町
幹 事	中野 勝友	久美浜町
幹 事	櫻井 祐策	丹後町
	池田 恵一	丹後町
	谷口 雅昭	久美浜町
	中野 正五	峰山町
	浜岡 大二郎	網野町
	東田 真希	大宮町
	平井 邦生	大宮町
	藤田 太	弥栄町
	松本 聖司	峰山町
	水野 孝典	大宮町
	由利 敏雄	峰山町
	和田 正幸	久美浜町

民安関連道路事業

- ⑩ 主要地方道 浜丹後線（上野平バイパス） (京丹後市丹後町久僧～平)
- ⑪ 主要地方道 浜丹後線（宮バイパス） (京丹後市丹後町宮)
- ⑫ 主要地方道 網野岩滝線（外村バイパス） (京丹後市弥栄町外村) <新規>
- ⑬ 一般府道 間人大宮線（丹後弥栄道路・丹後工区） (京丹後市丹後町三宮～弥栄町間)

主要地方道浜丹後線等は、国道178号等と併せて丹後半島を周遊する道路を形成し、地域の生活を支える重要な路線ですが、一部区間で幅員が狭く、急カーブが連続するなど、安全な通行に支障をきたしているため、バイパスの整備により、通行の安全確保と地域振興の促進を図ります。

令和元年度は、用地補償、道路築造、橋梁下部工等を実施します。

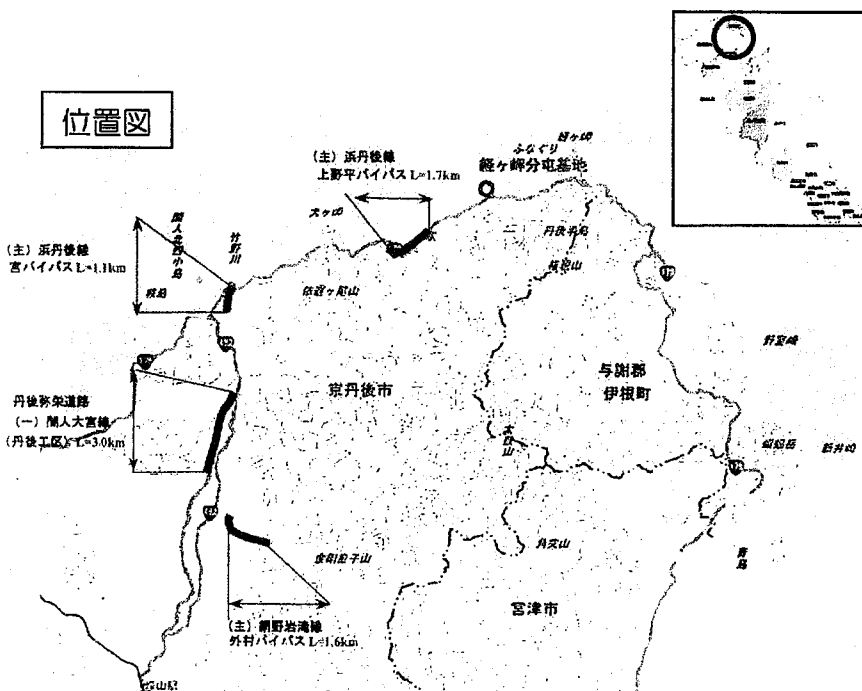
◎事業概要

箇所名	全体計画	H30までの実績	R元計画
(主)浜丹後線 (上野平バイパス)	事業期間：H26～ 延長・幅員：1.7km 6.0(10.0)m 総事業費：1,900百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 事業費：739百万円	事業概要：測量設計 用地補償 橋梁下部 道路築造 事業費：295百万円
(主)浜丹後線 (宮バイパス)	事業期間：H27～ 延長・幅員：1.1km 6.0(7.5)m 総事業費：500百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 事業費：347百万円	事業概要：道路築造 事業費：53百万円
(主)網野岩滝線 (外村バイパス)	事業期間：R元～ 延長・幅員：1.6km 6.0(10.0)m 総事業費：2,000百万円		事業概要：測量設計 事業費：24百万円
(一)間人大宮線 (丹後弥栄道路丹後工区)	事業期間：H26～ 延長・幅員：3.0km 6.5(10.5)m 総事業費：1,800百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 橋梁下部 事業費：891百万円	事業概要：測量設計 用地補償 道路築造 橋梁上下部 事業費：379百万円

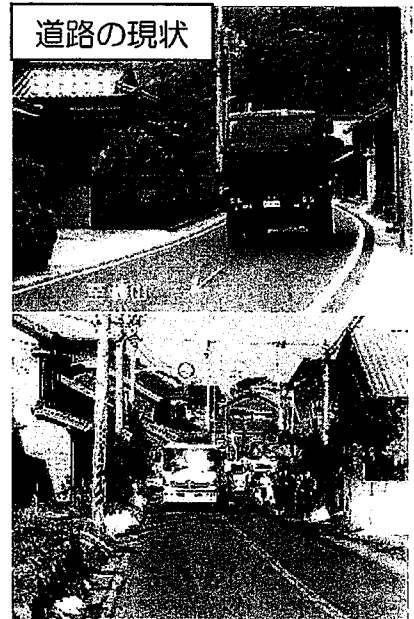
◎事業効果

- 急カーブ・急勾配が連続する交通ネック箇所を解消し、円滑な通行を確保します。
- 通過交通をバイパス道路に誘導し、現道部における歩行者の安全性向上を図ります。
- 丹後半島を一周する道路の整備により、観光振興を支援します。

位置図

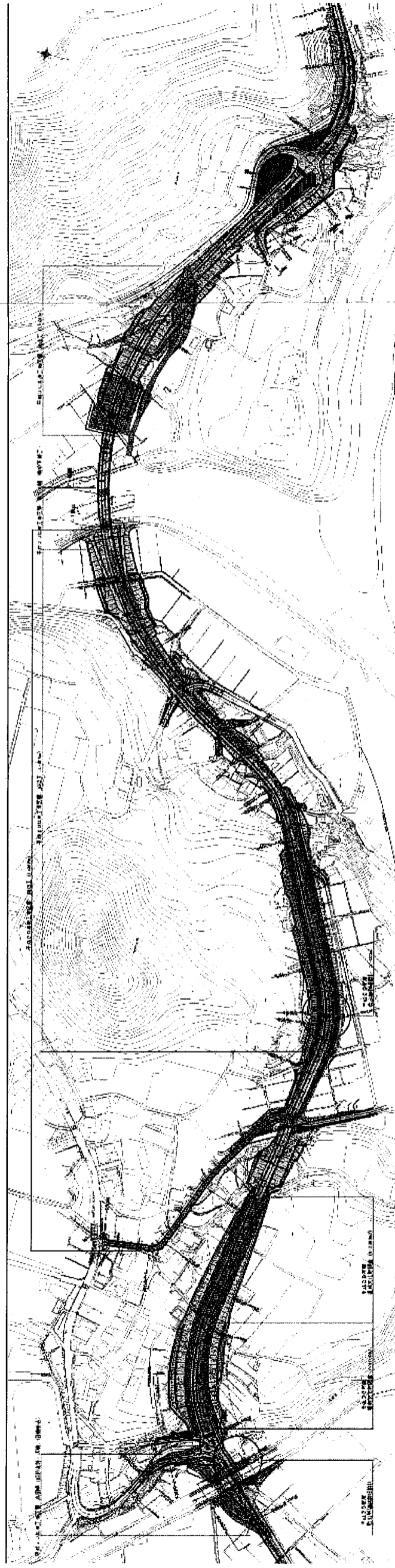


道路の現状



上野平バイパス 計画平面図(年度毎着色)

起点部 (空)	中間部 (空)	終点部 (空)	イメージ図
市道高鳴線	本線起点側	本線終点側	昨年度工事



高田橋	上野遺跡	上野築造工1	上野築造工2	橋梁下部工	平築造工	今年度工事
国道横断管						その他

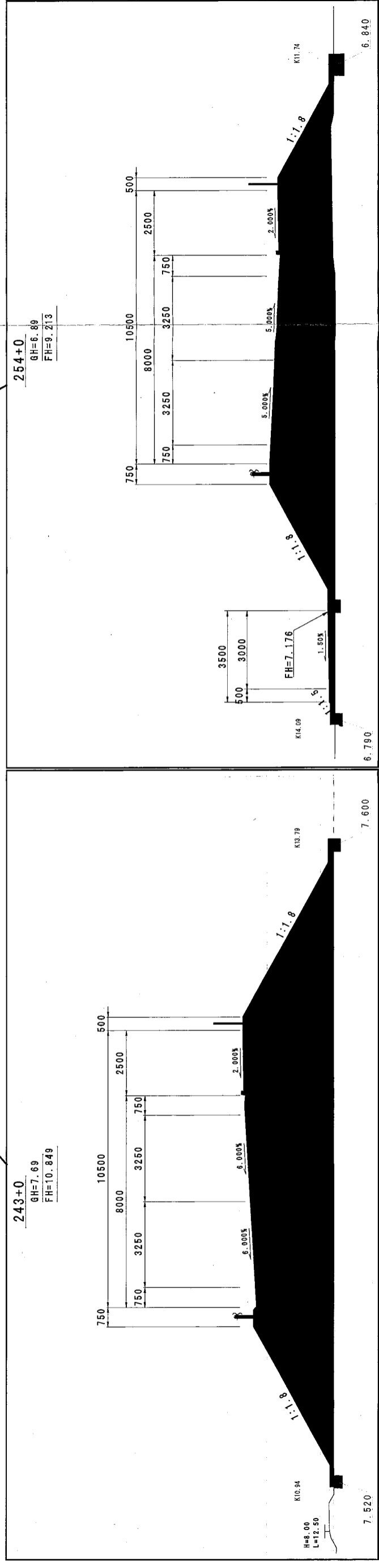
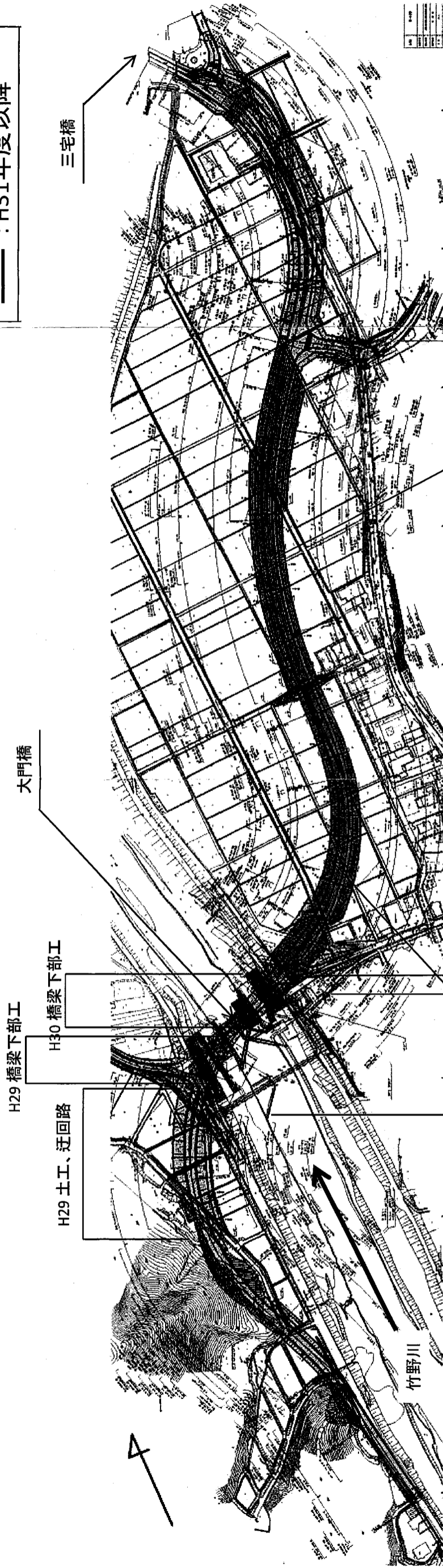
お願い事項

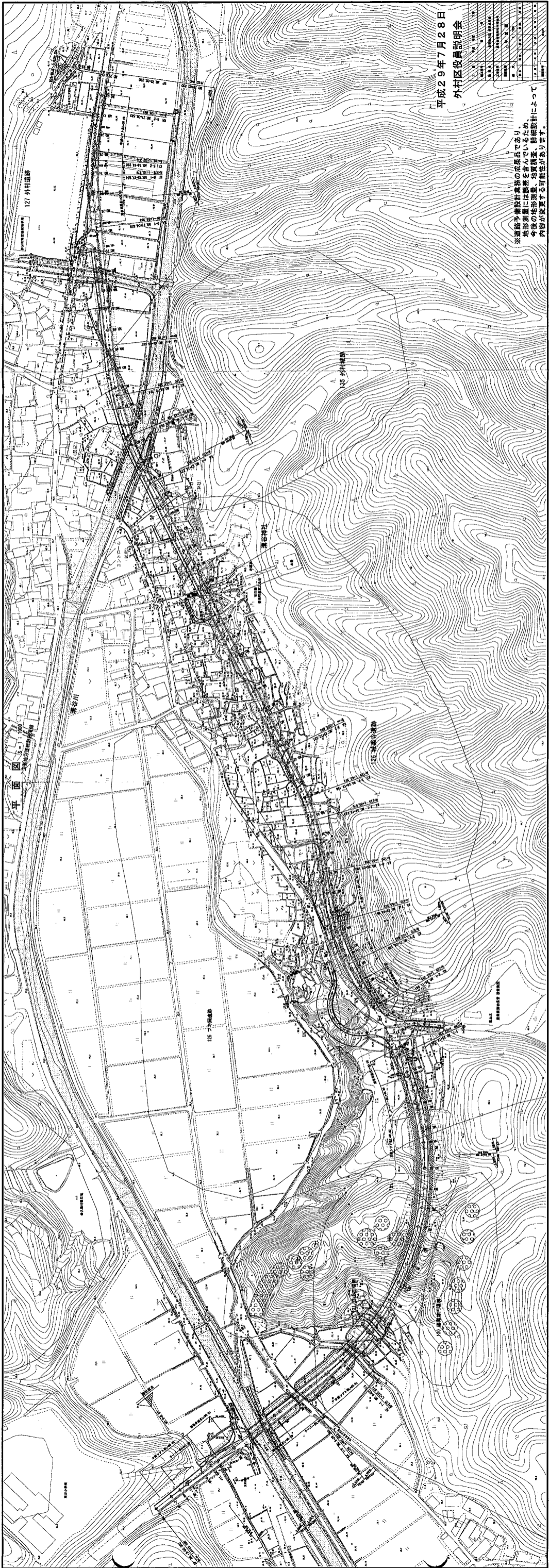
【丹後弥栄道路(丹後工区)間人大宮線(京丹後市丹後町)】

(バイパス区間)

凡例

- : H29年度まで
- : H30年度要求
- : H31年度以降





資料2

山陰近畿自動車道等建設促進議員連盟の要望活動のまとめ

(令和元年8月2日実施)

令和元年10月9日

京丹後市議会議員
松本聖司

I. 防衛省近畿中部防衛局 (10:30~11:00)

1. 山陰近畿自動車道路等議員連盟会長挨拶要旨

米軍経ヶ岬通信所の設置に伴い、再編交付金、民生安定施設整備事業及び障害防止対策事業の採択をはじめ、基地交付金、調整交付金など防衛省予算の事業にご支援賜り感謝申し上げます。これらの交付金・補助金を活用し農林漁業・民政・教育・医療・防犯・消防といったあらゆる分野で住民福祉の向上に資する事業に取り組むことができた。

今年度においては、ドクターヘリ停波問題に対し、早急な対応が求められる中、ヘリポート整備事業に着手することができたことは大きな喜びである。あわせて、京都縦貫道路の全線開通及び山陰近畿自動車道の延伸は、危機管理を想定するうえでも重要な道路である。その上で、観光入込客の増加や新規企業立地など整備効果が顕著に表れている。

米軍基地に関連した道路事業として、国道、府道の新設改良事業を行っていただき緊急輸送道路の整備推進を求める議員連盟としてお礼を申し上げます。さらに、今年度は、府道網野岩滝線の外村バイパスを新規事業決定していただきありがたく思っている。

こうした地域の願いが短期間で実現していくことに対し、防衛施設に対する地域住民の理解に、大きく寄与するところです。地元議員として、基地に対する理解促進及び関連事業の推進に最大限努力していく所存である。

2. 所見

京丹後市で現在進めていただいている防衛省の民生安定施設整備事業関連道路事業については、上野平バイパス、宮バイパス、丹後弥栄道路、国道178号袖志拡幅、そして今年度から事業化になった外村バイパスを加えると5事業で、総事業費77億円におよんでいる。今年度の5事業の予算総額は約7億9千万円であり、防衛省における民生安定事業予算においても突出している。改めて米軍経ヶ岬通信所に関し、京丹後市へ大変積極的な支援をいただいていることを再認識する要望活動であった。

島局長からは、京丹後市や議会に対し、米軍通信所の設置運営に対し改めて感謝の

表明があり、その上で、発電機の騒音問題、2期工事や基地関係者の交通事故対策についても、地域住民の安全安心のため、引き続きしっかりと対応していきたい。また、軍人・軍属と地域住民との交流が深まっている現状に対して、今後も一層進めていけるようサポートしていきたい。との発言があった。

米軍Xバンドレーダー設置を京丹後市にお願いしたいとの申し入れが、平成25年2月26日に当時の防衛省事務次官から京丹後市役所であり、同年7月11日には議会人として、私を含め3会派2議員から「米軍Xバンドレーダー配備受入について」の書面を当時の市長に提出した。内容は、市民の安心安全の確保を前提に、京丹後市へXバンドレーダー配備はやむ得ないものと考えている。との内容であり、市長に早急な判断を求めたところである。その上で、①市民の安心・安全の確保に万全の対策を講じる。②日米地位協定の運用の課題について見直しの検討を求める。③民生安定事業等について地元の不安い十分配慮し事業の拡大を求めている。この経過からして議会の責任は大変重いと認識しており、引き続き市民の安心・安全、環境整備に向けて取り組んでいく決意である。

II. 国土交通省近畿整備局（11：30～12：00）

1. 山陰近畿自動車道路等議員連盟会長挨拶要旨

平成28年10月に高速道路が京丹後市までつながり、観光入込客の増加や新規企業立地など大きなストック効果が表れており重要性を痛感している。現在は、大宮峰山道路を事業着手していただき、今年から用地買い取りも始まり、工事着工の運びと聞いている。地元として期待が膨らむ高速道路の延伸であり、ご尽力に感謝申し上げます。

その後、要望項目の3点を読み上げ説明をした。①大宮峰山道路の早期完成に向け、事業の推進を図られたい。②大宮峰山インターチェンジから網野インターチェンジまでを早期に事業化されたい。③兵庫県豊岡市までの区間について、地元希望ルート帯に配慮し、ルート決定に向けた本調査を実施されたい。

なお、③の地元希望ルート帯については、6月27日に市長等が国土交通省で、森事務次官、由木審議官、池田道路局長にお会いし、直接地元の意向を伝えた。また、7月22日には、西脇京都府知事へも要望に参りました。知事からは「地元希望ルート帯を踏まえ、府が主体的にルート計画・都市計画決定に向けた調査に着手したい。」との回答をいただきましたので、早期に都市計画決定がされる国土交通省のご支援をお願いしたい。

2. 所見

国土強靱化予算が来年度で終わることになる。道路関連予算についてはそれ以前に返ることになれば国土交通省としても積極的に道路整備に取り組むことは不可能にな

る。地域から積極的に財源確保に取り組んでほしいとの発言もあり、地方議員が地元関係国会議員働きかけを強める取り組みを協議していきたいと考えている。

山陰近畿自動車道路の網野以西の延伸については、地元希望のルート帯について、6月27日には国土交通省に、事務次官、審議官、道路局長等に直接意向をお伝えし、7月22日には京都府知事に直接お目にかかり、三崎市長、地元選出府議会議員、業界関係者代表及び私も参加したところです。大きな事業の進展について、人と人とのつながりや信頼関係を醸成する中で、事業が動くことを実感しましたし、その中で事務方のご苦勞も身近なところで見ることとなりました。議会人として、山陰近畿自動車道の延伸に係る陳情要望活動の大切さを刻んだところであり、多くの議員とタッグを組んで要望活動を進めていきたい。

Ⅲ. 京都府建設交通部（15：00～15：15）

1. 山陰近畿自動車道路等議員連盟会長挨拶要旨

平成28年10月に高速道路が京丹後市につながり満3年を迎える。観光入込客の増加や新規企業立地など大きなストック効果が表れており改めて高速道路の重要性を痛感している。現在は、大宮峰山道路を事業着手していただき、今年から用地買い取りも始まり、工事着工の運びと聞いている。また、峰山インター線の用地買収も始まると聞いている。地元として期待が膨らむ高速道路の延伸であり、京都府のご尽力に感謝申し上げる。

京丹後市における国・府道の事業も精力的に進めていただいております、本年度新規事業として、外村バイパスや栃谷歩道整備、比原峠融雪装置など多くの事業を新たに着手していただくと聞いており重ねてお礼申し上げます。

ここで要望書の読み上げの後補足説明。

1点目の大宮道路については、京丹後市の市役所がある峰山町へつながる道路であり、国や京都府の出先機関も立地しており、行政の中心地であるとともに商業施設も集積が進んでいる地域です。また、峰山町は機械金属加工の企業が多く立地しており、大宮峰山道路の開通は利便性の向上はもちろんのこと、地域産業における物流・人流の安定性や定時制が高まり、地域振興に大きく寄与する道路です。

2点目の網野までの早期事業化については、観光・交流の道として早期開通を望むものです。京丹後市には年間220万人を超える混交客に来ていただいておりますが、主な観光拠点は日本海に面した地域であります。現在、京丹後大宮ICから網野までは約30分の時間距離がありますが、これを短縮できればさらに多くの観光客にお越しいただき、民間投資を呼び込めると考えています。

3点目の網野から兵庫県との府県境までの区間については、日本海側唯一のミッシングリンクの早期ルート決定を求めるもの。また、7月22日には、三崎市長や地元関係団体の代表が西脇京都府知事へ要望に参り、富山部長も同席いただいたと聞いて

います。知事からは「地元希望ルート帯を踏まえ、府が主体的にルート計画・都市計画決定に向けた調査に着手したい。」との回答をいただきました

2. 所見

道路部長から、山陰近畿自動車道の大宮峰山線の事業が進んでいるが、区間の事業完成までに峰山以西の先線の事業がスタートできればとの発言があり、一步踏み込んだとの認識で、参加者一同面談後に歓喜の意見交換をしたところです。山陰近畿自動車道の峰山以西については、日本海側唯一のミッシングリンクであり、兵庫県側については都市計画決定も見ており、網野以西の都市計画決定及び峰山網野間の事業化の決定を活動目標に進めていきたいと考えている。

京丹後市は改めて申すまでもなく丹後半島に位置し、半島振興法の適用を受けている。この法律は、三方を海に囲まれ、平地に恵まれず、水資源が乏しい等、国土資源の利用の面における制約から産業基盤及び生活環境の整備等について他の地域に比較して低位にある半島地域について、広域的かつ総合的な対策を実施するために必要な特別の措置を講ずることにより、これらの地域の振興を図り、もつて地域住民の生活の向上と国土の均衡ある発展に資することを目的とする（1条）。と示されている。私は、山陰近畿自動車道が鳥取市から京丹後市まで全線開通することが、道路事情において半島としての地理的条件不利地域から脱却できるものと考えている。地勢を人力で変更するすべはないが、高速道路の全線早期開通は政治の力で可能であり、地域振興の観点から、更なる要望活動の強化が必要であると考えている。